

シラバス情報

授業方法	講義・実験・実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	シャシ構造		
必修・選択	必修科目・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年前期	・ 金曜日	・ 3・4時限あるいは5・6時限
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	清末 裕貴（副：池上 健史）		
実務経験	有 ・ 無		
授業の目的	シャシを構成する各装置・部品の構造・機能、及びそれらの装置の役割や作動について講義する。		
テキスト	二級自動車シャシ 二級ガソリン自動車・二級ジーゼル自動車シャシ編 （日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	MT、クラッチ、AT	各部品の構造や機能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.17~23
第2回	AT電子制御装置	電子制御の内容や変速の仕組みについて学 習。練習問題と課題プリントも使用。	P.23~30
第3回	AT油圧制御機構	油圧系統や各バルブの働きについての学習。 練習問題と課題プリントも使用。	P.30~49
第4回	CVT、ディファレンシャル	各装置の機能や構造についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.50~59
第5回	アクスル及びサスペンション	機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.65~71
第6回	エアサスペンション	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.71~79
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	電子制御サスペンション	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.79~87
第8回	ステアリングと旋回性能	機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.89~92
第9回	油圧・電動パワーステアリング	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.92~102

第 10 回	ホイールアライメント	役割や機能及び性能についての解説。 練習問題と課題プリントも使用。	P.119~128
第 11 回	ブレーキ装置 A B S、T R C	機能と構成部品や特徴と役割などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用	P.141~149
第 12 回	大型系のブレーキについて	機能と構成部品や特徴などについて解説。 練習問題と課題プリントも使用	P.131~140 P.149~157
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記 試験	
到達目標	二級シャシテクニスト範囲の各部品の特徴を捉えて、名称・構造・機能・作動の理解をし、各装置の制御について理解をする。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="margin-left: 40px;">60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		